

ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)

追加型投信／内外／不動産投信

交付運用報告書

第245期(決算日2024年8月5日) 第246期(決算日2024年9月5日) 第247期(決算日2024年10月7日)
第248期(決算日2024年11月5日) 第249期(決算日2024年12月5日) 第250期(決算日2025年1月6日)

作成対象期間(2024年7月6日～2025年1月6日)

第250期末(2025年1月6日)	
基準価額	2,264円
純資産総額	261,442百万円
第245期～第250期	
騰落率	2.9%
分配金(税込み)合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)」は、2025年1月6日に第250期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託に実質的に投資を行ない、インカム収益の確保を図るとともに、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<440477>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。社名変更後URL: www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

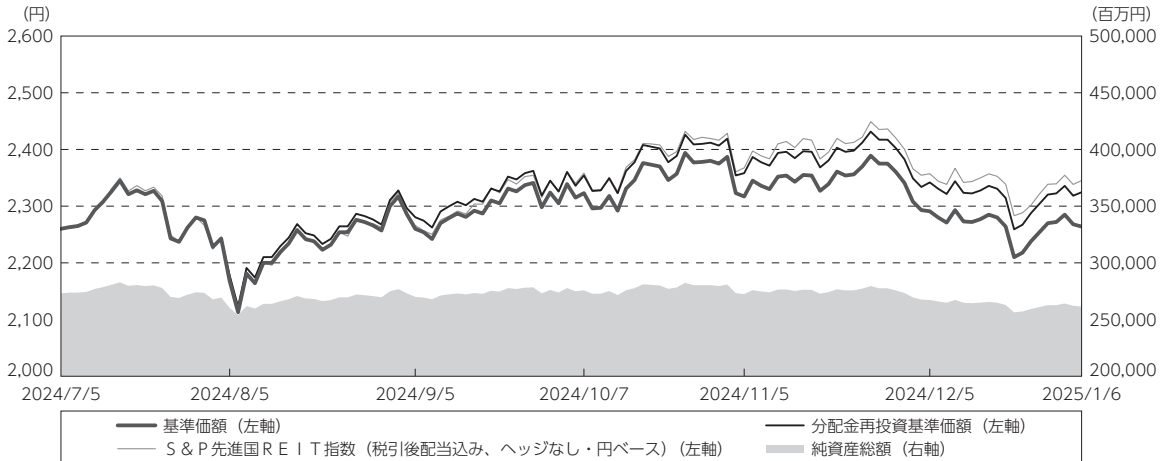
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年7月6日～2025年1月6日)



第245期首：2,260円

第250期末：2,264円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰落率：2.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびS & P先進国REIT指数(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2024年7月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) S & P先進国REIT指数(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託に実質的に投資を行ない、インカム収益の確保を図るとともに、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・インフレの鈍化傾向が継続する中、複数の主要中央銀行が利下げ開始に踏み切ったことや、今後数ヶ月内の利下げ開始の可能性を示唆したこと(2024年7月、8月、9月)。
- ・米国大統領選挙の結果を受け、新政権下における景気刺激策の導入や規制緩和の方針への期待感がインフレ再燃への警戒感を上回ったこと(2024年11月)。

<値下がり要因>

- ・堅調な経済データや政治的不透明感およびインフレ再燃のリスクが意識され、低下傾向となっていた長期金利が上昇に転じたこと（2024年10月）。
- ・米国の予想を上回る経済成長率や新政権における景気刺激策の導入期待、また多くの主要国におけるインフレ再燃懸念などを背景に、利下げ観測が後退したこと（2024年12月）。

1万口当たりの費用明細

（2024年7月6日～2025年1月6日）

項 目	第245期～第250期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19	0.836	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.485)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(7)	(0.307)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.045)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.034	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.034)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.010	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.010)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.015	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0.895	
作成期間の平均基準価額は、2,307円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

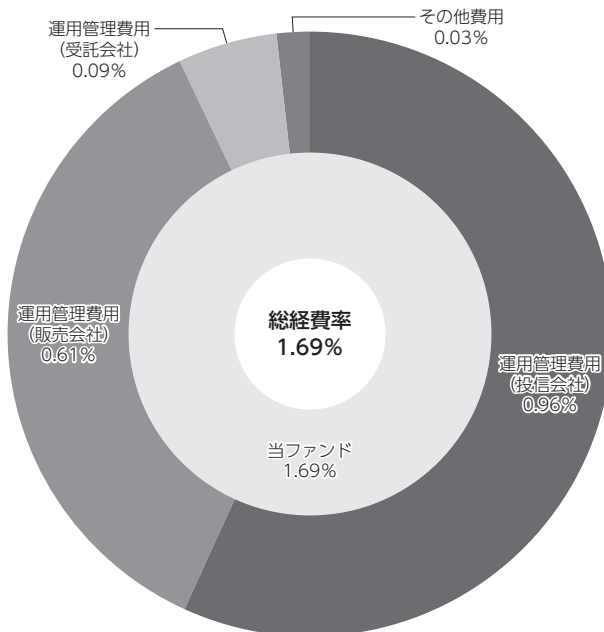
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

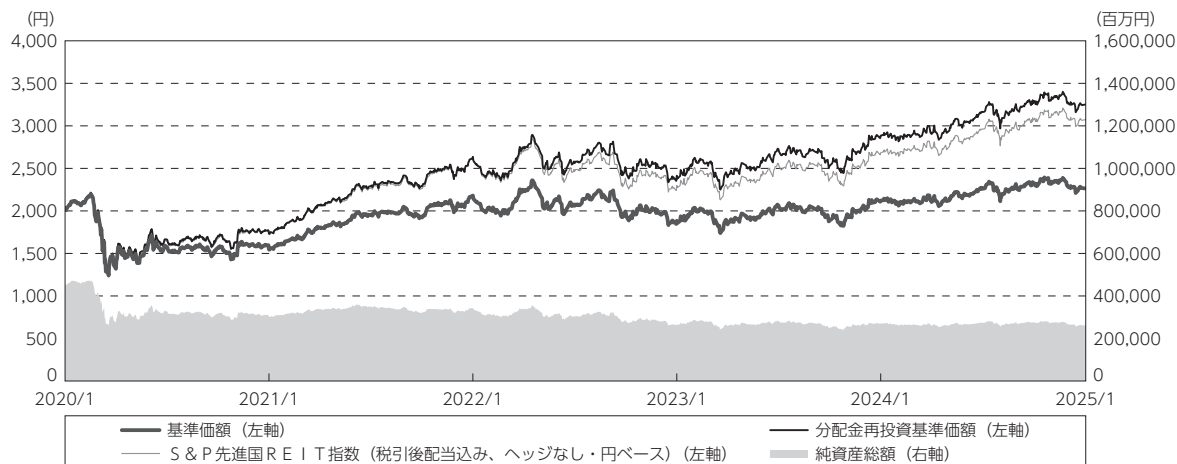
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2020年1月6日～2025年1月6日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびS & P先進国REIT指数（税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）は、2020年1月6日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年1月6日 決算日	2021年1月5日 決算日	2022年1月5日 決算日	2023年1月5日 決算日	2024年1月5日 決算日	2025年1月6日 決算日
基準価額 (円)	2,031	1,546	2,181	1,884	2,121	2,264
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	180	145	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 14.8	52.4	△ 8.4	19.5	12.7
S & P先進国REIT指数(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	—	△ 14.7	52.3	△ 12.8	16.6	14.6
純資産総額 (百万円)	452,960	300,634	343,498	267,295	270,347	261,442

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) S & P先進国REIT指数（税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2024年7月6日～2025年1月6日)

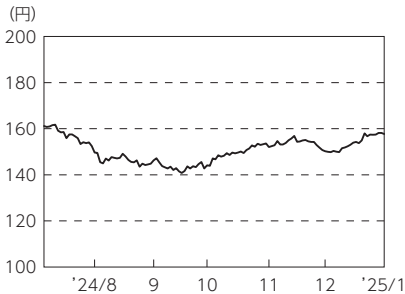
(グローバルREIT市況)

2024年上半期の大半は利下げの最終的なタイミングやペース、インフレや世界経済の行方などの不確定要素を背景に一進一退の展開となりました。その後、期間初めの第3四半期は、インフレ鈍化の兆しが見られるにつれ、利下げ観測を背景に長期金利が低下するなど緩和的な金融環境を追い風に上昇基調で推移しました。期間終盤の12月には、米国の予想を上回る経済成長率や新政権における景気刺激策の導入期待、また多くの主要国におけるインフレ再燃懸念などを背景に利下げ観測が後退すると、長期金利が上昇する中、グローバルREIT市場は軟調な推移となりました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／オーストラリアドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2024年7月6日～2025年1月6日）

（当ファンド）

当ファンドは、「世界REITマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（世界REITマザーファンド）

ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が良好で安定した分配金利回りが見込めるREITに投資を行ない、インカムゲインおよびキャピタルゲインをバランスよく獲得することをめざして運用を行ないました。

ポートフォリオにおいては、市場の見通しや相対的価値判断に基づき、地域、セクター、銘柄のアロケーション変更を行ないました。大陸欧州、英国、オーストラリアおよびシンガポールのウェイトを増やし、米国および日本のウェイトを減らしました。

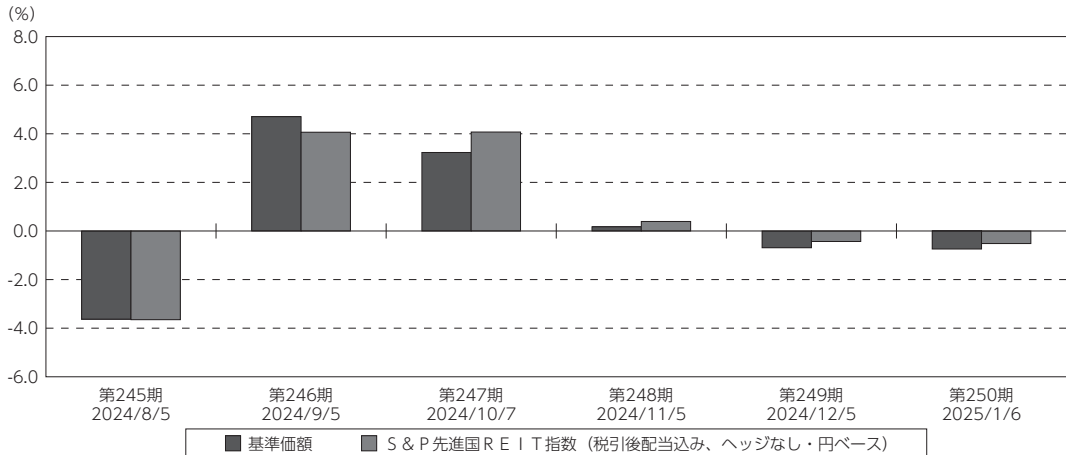
当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年7月6日～2025年1月6日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S & P 先進国REIT指数（税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

（2024年7月6日～2025年1月6日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第245期	第246期	第247期	第248期	第249期	第250期
	2024年7月6日～ 2024年8月5日	2024年8月6日～ 2024年9月5日	2024年9月6日～ 2024年10月7日	2024年10月8日～ 2024年11月5日	2024年11月6日～ 2024年12月5日	2024年12月6日～ 2025年1月6日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.459%	0.441%	0.429%	0.430%	0.435%	0.440%
当期の収益	—	10	10	3	2	8
当期の収益以外	10	—	—	6	7	1
翌期繰越分配対象額	5,250	5,261	5,324	5,318	5,310	5,309

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界REITマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（世界REITマザーファンド）

インフレの鈍化兆候の継続などを背景に足元の金融緩和サイクルの継続が見込まれる中、グローバルREIT市場の見通しは明るいものと考えます。また新たな政策により経済成長が加速した場合には投資需要の増加も見込めるものと考えます。

金利の当面の方向性や最終的な水準に関しては不透明感があるものの、REIT市場においては金融引き締めの影響が既に株価に反映されていることから向かい風は近年の水準と比較して弱まるものと見込んでいます。また金融環境の緩和進行はREITにとって潜在的な追い風になりうると考えます。

内部成長の観点から見ると、不動産ファンダメンタルズの見通しは直近のピーク時からはいくらか緩やかになっているものの長期平均を上回る水準を維持しており、物件の新規供給の減少などを背景に引き続き堅調な推移が見込まれます。また外部成長の観点からも、資金調達環境の改善や資本コストの優位性などを背景に継続的な成長を予想しています。

バリュエーション（価値評価）の観点から見ると、グローバルREITは純資産価値（NAV）に対していくらか割高となっておりますが、一部特定のセクターや地域では引き続き大幅な割安感を維持しています。NAV対比の割高傾向は実物不動産市場にとってのポジティブな先行指標となる傾向があり、足元では実物不動産価格の底打ちからの回復や取引の活発化も見られます。グローバルREITは株式対比では引き続き長期平均に対して割安であるとみています。

まとめると、金融環境の安定、REIT各社の内部成長の潜在性や外部成長の可能性などを背景に、

グローバルREITは引き続き魅力的なリターンを生み出すことが期待されます。また、今後金融環境の更なる緩和が進んだ折には、REIT市場および不動産価格を支える追い風になるものと見込んでいます。

ポートフォリオについては、引き続き、独自の評価に基づいたREITの資産価値および市場価格の比較において、相対的に魅力的であると判断されたREITを組み入れていく方針です。

資産価値の評価には、現在の配当、保有不動産の質、経営陣の能力、内部成長の潜在性、新規投資による外部成長の可能性などが含まれます。これらを考慮したバリュエーションは定期的かつ機動的に見直され、それにより長期的な収益増加と保有資産の質の向上が見込まれるREITを選別することが可能となります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2024年7月6日から2025年1月6日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

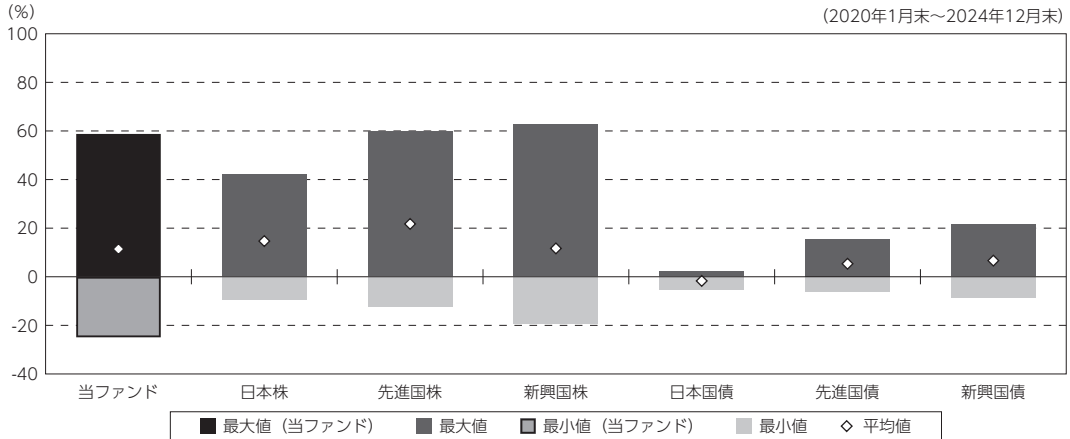
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2004年3月26日から原則無期限です。	
運用方針	主として「世界REITマザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	「世界REITマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界REITマザーファンド	世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託を主要投資対象とします。
運用方法	「世界REITマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託に投資を行ない、インカム収益の確保を図るとともに、中長期的な信託財産の成長をめざします。 不動産投資信託の銘柄選定にあたっては、世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託の中から、各銘柄毎の利回り水準、市況動向、安定性、流動性に加えて、ファンダメンタルや割安性の分析も行ない、投資を行ないます。 不動産投資信託の組入比率は、高位を維持することを基本とします。 外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	58.8	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 24.9	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	11.4	14.7	21.7	11.7	△ 1.7	5.3	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

● S & P 先進国 R E I T 指数 (税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)

参考指数は、スタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービスズ・エル・エル・シー社 (S&P社) の発表する「S & P 先進国 R E I T 指数 (税引後配当込み)」を円換算した指数です。

指数について

● 東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

● MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

● NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

● FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

● JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2025年1月6日現在）

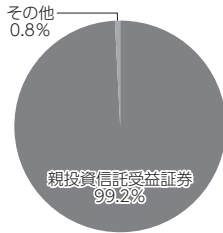
○組入上位ファンド

銘柄名	第250期末
世界REITマザーファンド	99.2%
組入銘柄数	1銘柄

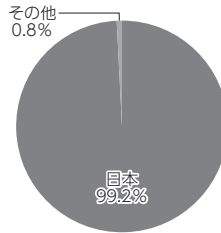
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

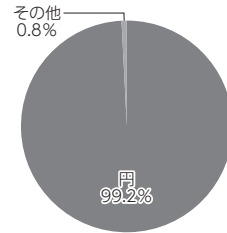
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

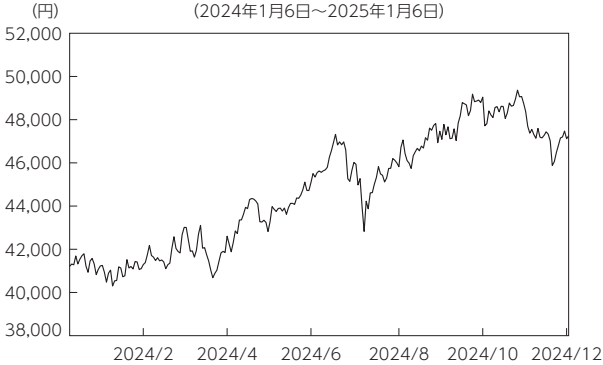
項目	第245期末	第246期末	第247期末	第248期末	第249期末	第250期末
	2024年8月5日	2024年9月5日	2024年10月7日	2024年11月5日	2024年12月5日	2025年1月6日
純資産総額	260,363,920,730円	269,959,048,140円	275,786,499,375円	272,449,038,953円	267,251,543,595円	261,442,738,516円
受益権総口数	1,200,890,768,907口	1,194,381,880,977口	1,187,250,090,920口	1,175,925,883,945口	1,166,419,383,855口	1,154,989,306,865口
1万口当たり基準価額	2,168円	2,260円	2,323円	2,317円	2,291円	2,264円

（注）当作成期間（第245期～第250期）中における追加設定元本額は12,627,868,586円、同解約元本額は66,285,076,756円です。

組入上位ファンドの概要

世界REITマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月6日～2025年1月6日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	37 (37)	0.082 (0.082)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	13 (13)	0.029 (0.029)
(c) その他費用 (保管費用)	17 (12)	0.038 (0.026)
(その他)	(6)	(0.012)
合計	67	0.149

期中の平均基準価額は、44,984円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

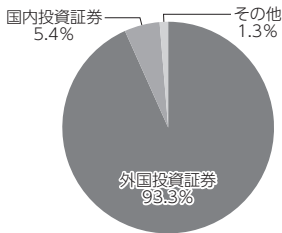
【組入上位10銘柄】

(2025年1月6日現在)

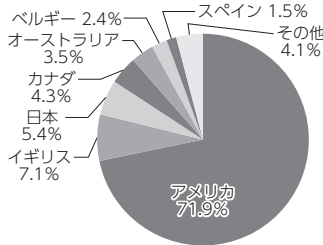
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	EQUINIX INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	7.6
2	PROLOGIS INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.8
3	WELLTOWER INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.8
4	REALTY INCOME CORP	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.8
5	SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.8
6	PUBLIC STORAGE	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.4
7	DIGITAL REALTY TRUST INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.3
8	EQUITY RESIDENTIAL-REIT	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.2
9	VICI PROPERTIES INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.8
10	UDR INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.3
	組入銘柄数		64銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

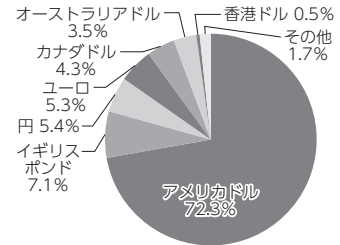
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。